

## 研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19230
課題名	小児期に治療した血液および悪性腫瘍疾患患者における心筋障害発症の評価
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2025年 12月 31日
研究の対象	2015年1月～2025年12月までに当院小児科で診ている血液および悪性腫瘍疾患患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：胸部 X 線検査、心電図検査、心臓超音波検査、CT 検査、MRI 検査、核医学検査、心臓カテーテル検査、血液検査、尿検査など） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	小児の血液および悪性腫瘍疾患の治療は化学療法、放射線治療、移植治療などが基本であるが、治療合併症として心筋障害が発生することはよく知られている。診断には心エコーや血液中のトロポニン I の測定が用いられるが、小児におけるエビデンスの蓄積は十分ではない。したがって、心筋障害がいつ起きるのか、発症リスクは何であるのか、また治療はどうすればよいのかについての根拠は少ない。そこで我々は、当院小児科における血液および悪性腫瘍疾患患者のデータを元に心筋障害の発症についての評価を試みた。
研究の方法	当院小児科で診ている血液および悪性腫瘍疾患患者さんを対象とする。治療前後に測定した血液検査項目と、胸部 X 線、心電図、心臓超音波検査、CT 検査、MRI 検査、核医学検査、心臓カテーテル検査などから得られた評価項目を比較し、心筋障害発症について検討する。
その他	特記事項なし
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先(研究責任者)：  北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1 tell: 0166-68-2481、  旭川医科大学小児科学講座・岡 秀治</p>